

社会科学習指導案

単元名 「武士の世の中へ」

指導者 西山 敏也

I 単元の構想

1 単元観

本単元は、天皇を中心とした中央集権国家から、徐々に武士が台頭し始め、封建制度へと移り変わっていく時代の変化を捉えさせる。そのために、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いの三つの事象を取り上げる。これらの事象を手掛かりに、鎌倉に幕府が置かれた頃、武士による政治が始まったことを理解できるようにする。その際、源平の戦いが行われた場所や鎌倉幕府が開かれた場所、守護や地頭の配置、元との戦いの様子を捉えさせることで、歴史上の出来事の位置や広がりなどを読み取る技能、調べたことを白地図や年表などに適切に整理する技能を身につけさせていきたい。

社会的な見方・考え方を働かせ、源義経の活躍を中心に源氏と平氏の戦いの様子を捉えさせたり、人物年表やエピソードから源頼朝の業績について考える学習や元との戦いを北条時宗の視点から捉えさせる学習をすることで、今日の自分たちの生活は、長い歴史や先人たちの働きの上に成り立っていることや、遠い祖先の生活が自分たちの生活に深く関わっていることを理解し、未来の担い手として平和で民主的な社会を形成するための示唆を得ることにつながると思う。

2 研究との関わり

本単元では2回目の単元内自由進度学習を実践する。単元内自由進度学習とは、共通の学習目標を設定し、予め準備された教材を用いて、自分のペースで主体的・自律的に進める学習方法である。児童自身が、自己調整しながら調べ学習に取り組む場面を多く設定し、見通しを持ちながら自分の力で最後まで追究しようとしたり、自己のつまずきや課題への理解度を自覚したりしながら追究することができたようにする。また、ICT を活用することで、友だちの成果物や進度を共有でき、児童間で必要に応じた話し合い活動の場面が生まれそこから思考が深まることも期待できる。

本単元では、平清盛・源義経・源頼朝・北条時宗の人物を取り上げる。各人物のエピソードや絵や年表、地図等の資料から、興味関心をかき立て、自分で調べてみたくなるような疑問をもてるように工夫していく。調べ学習を進めていく中で、自分自身の進捗や理解度を確認できるようにするために、チェックシートを解くようにする。チェックシートを解くことで、児童の知識や思考を整理することに役立てさせたい。チェックシートを解き終わった児童から、自分の学びを深めるために更に調べたいことを調べて説明動画を作成する。作成した動画は共有フォルダーに入れ、児童同士で見ることができるようしていきたい。また、児童自身が学習を調整し、自律した学習者になるように「教科の目標に対する振り返り」と「学習者としての自分に対する振り返り」の2種類の振り返りができるように時間を確実に確保するようにする。

本単元では、自己決定しながら課題解決を行っていくための手立ての有効性と、児童が自己の学習を調整をしながら進めることが可能なのかを検証しながら、必要な手立てを講じよりよい学習となるよう工夫していきたい。

3 単元の目標及び児童の実態

| | 目 標 | 児童の実態 |
|--------|---|--|
| 知識及び技能 | ・源平の戦い、幕府の始まり、元との戦いを手掛かりに、武士による政治が始まったことを理解することができる。 ・遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめることができる。 | ・資料から必要な情報を読み取る力に個人差が見られる。必要な情報を読み取るための視点を与えるなど、個に応じた支援が必要である。 |

| | | |
|--------------|---|---|
| 思考力、判断力、表現力等 | ・ 武士が台頭してきたことや源平の戦いの様子、鎌倉幕府の政治の仕組み、元との戦いについて関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え表現することができる。 | 歴史上の主な人物がどんな取組をしたのかに着目し、その人物の立場に立って思いや願いを考えることはできるが、様々な事象と関連付けてこの頃の世の中の様子を言語などで表現することを苦手とする児童が多い。 |
| 学びに向かう力、人間性等 | ・ 源平の戦い、幕府の始まり、元との戦いを手掛かりに、貴族の世の中から武士の世の中へと変化することについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追及し、解決することができる。 | ・ 教員の指示に沿って、資料を読み取ったり、調べ学習を行ったりすることはできるが、主体的に問いを見いだし、学習計画を立て、学習問題を解決しようとする児童は少ない。 |

4 評価規準

| | |
|---------------|---|
| 知識・技能 | ① 源平の戦い、幕府の始まり、元との戦いを手掛かりに、武士による政治が始まったことを理解している。 ② 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめている。 |
| 思考・判断・表現 | ・ 武士が台頭してきたことや源平の戦いの様子、鎌倉幕府の政治の仕組み、元との戦いについて関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え表現している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ・ 源平の戦い、幕府の始まり、元との戦いを手掛かりに、貴族の世の中から武士の世の中へと変化することについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追及し、解決している。 |

5 指導及び評価、ICT 活用の計画（全 6 時間）

※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

| 時 | 学習活動 | 知 | 思 | 態 |
|-------------|--|--------|---|---|
| 1 | ・ 児童の実態を把握するためにアンケートに答える。（い） ・ 資料を基に疑問を出し合い、児童の疑問を基に単元の課題をつくり、その単元の課題を解決するために、児童が自らの学習計画を立てる。（あ）（い） <div>単元の課題 なぜ、武士が力をもつことができたのだろうか？力をもった後どうなったのだろうか。</div> | | | ○ |
| 2 5 | ・ 自らの学習計画に沿って、源平の戦い・鎌倉幕府の始まり・元との戦いについて調べ学習を行い、分かったことをまとめる。 ・ チェックシートを解く。 ・ さらに調べたいことを調べ、説明する動画を作る。 | ① ② | ○ | ● |
| 6 | ・ これまでに学習して分かったことをもとに「なぜ、武士が力をもつことができたのだろうか？力をもった後どうなったのだろうか。（仮）」について説明する。 ・ 平清盛・源頼朝・源義経・北条時宗について記述する。（あ）（い）（う） | | ● | ○ |

* 活用する学習支援ソフト等：（あ） Google スライド（い） Google フォーム
（う） Google スプレッドシート

* 活用するコンテンツ等：NHK for school

Ⅱ 第 1 時の学習

- ねらい 2 枚の絵を見比べ、違いを見つける活動を通して、疑問を出し合い、共通した言葉を使って単元を貫く問いを考えることができる。

2 展 開

| | |
|---|-----------------------------------|
| 主な学習活動 予想される児童の反応〔S〕 ★ I C T 活用に関する事項 | ◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点） |
|---|-----------------------------------|

| | |
|--|--|
| <p>1 本時のめあてをつかむ。(★) (導入 5 分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><めあて> 絵から疑問を出し合い、みんなで考える問いをつくろう。</p> </div> <p>S : 貴族の世の中がどう変わっていったのかな。 S : みんなで考える問いってどうやって作るのかな？</p> | <p>○武士に好奇心をかき立てるように、甲冑等の具体物を提示する。 ○本時の学習の見通しをもつことができるように、めあてを確認する。</p> |
| <p>2 2 枚の絵を見比べながら、気づいたことを出し合い、単元を貫く問いを作る。(★) (展開①25 分)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <p>一枚目の絵 S : 貴族を守っているのが武士だったんだな。 S : 武士って何だろう。昔から居たのかな。 S : 絵を見ると、貴族が真ん中を通っているから、平安時代は貴族の方が立場が強いんだな。</p> <p>二枚目の絵 S : 何で、武士が道の真ん中を歩いているのだろう。 S : 貴族が武士に道を譲っているから、武士の立場が強くなったのかな。</p> <p>S : なんで立場が逆転しているのだろう。 S : どうやって力をにぎったのだろう。 S : 天皇や貴族はどうなったのだろう。 S : 武士が力をもつことで変わることがあるのかな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>みんなで考える問い なぜ、武士が力を持つことができたのだろう。 その後はどうなっていったんだろう？</p> </div> | <p>○児童が疑問を作ることができるように、「なぜ」「どうして」「どこで」など疑問を作りやすい言葉を提示する。 ○平安時代は貴族が政治を行っていたことを想起することができるように、平安時代の絵を提示する。 ○武士の立場と貴族の立場に気づくことができるように、2 枚の絵を配布し、見比べるように促す。</p> <p>◎児童が武士と貴族の権力が逆転したことに気づくことができるように、絵の中の武士や貴族の立ち位置に注目させる。 ○全員の児童が疑問をもつことができるように、考えた疑問をノートに記入させる。 ○疑問を全体で共有できるように、児童を意図的に指名し、発表させる。 ○力を握った武士の世の中がどうなっていくのか考えることができるように、武士の世の中はどうなっていくのかを予想させ、発表させる。 ◎単元を貫く問いを児童とすることができるように、調べたいことは何か・大切な言葉・共通する言葉は何かを問いかけ、その言葉を使って作るようにする。</p> |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>◆評価項目 2 枚の絵を見比べ、違いを見つける活動を通して、疑問を出し合い、共通した言葉を使って単元を貫く問いを考えている。＜発言 振り返り（態）＞</p> </div> | |
| <p>4 学習計画をたて、振り返りをする。 (終末 15 分)</p> <p>S : 楽しみだな。どの疑問からはじめれば、解決できるかな。 S : どうやって進めていこうかな。友だちと協力しながら調べたいな。 S : 自分で調べることができるか心配だな。分か</p> | <p>○児童が自ら学習計画を立てることができるように、どの疑問から調べるかを考えさせ、ワークシートに記入するように促す。 ○学習の見通しをもてるように、単元の時間やチェックシートの活用・最後の動画作りについて提示する。 ◎毎時間、ワークシートに振り返りを書き、自</p> |

| | |
|-----------------|---|
| らないから先生に聞いてみよう。 | 分の学習を振り返ることができるように、「教科の目標に対しての振り返り」と「学習者としての自分に対する振り返り」があることを説明し、振り返りの書き方を説明する。 |
|-----------------|---|

第2～5時の学習（自由進度学習）

- ねらい 自らの学習計画に沿って、源平の戦い・鎌倉幕府の始まり・元との戦いについて調べ学習を行い、分かったことをまとめることができる。

2 展 開

| 主な学習活動 予想される児童の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項 | ◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点） |
|---|---|
| <p>1 本時のめあてをつかむ。 (導入5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>＜めあて・課題・見通し等＞ なぜ、武士が力を持つことができたのだろう。 その後はどうなっていったんだろう？ について学習計画をもとに調べよう。</p> </div> <p>S：自分の立てた学習計画に沿って、進めていこう。</p> | <p>○各児童の学習計画に沿って調べ学習を進めることができるように、児童に何を、どこまで進めるかを問いかける。 ◎各自が必要な資料を選んで調べることができるように、ホームページ・本・教科書などの資料を紹介する。 ◎問いを解決するのに必要な資料を選ぶことができるように、単元を貫く問いを提示する。 ◎自分で考えてまとめることができるように、どの資料からどんなことが分かったのかをタブレットやノートに記述するように伝える。</p> |
| <p>2 各自で調べ学習を行う。(★)。 (展開①30分)</p> <p>S：一人で武士について、教科書の資料をもとに調べてまとめようかな。 S：一人でやるのは心配だから、誰かと一緒に進めていきたいな。</p> <p>S：インターネットの記事を参考にしてみよう。</p> <p>S：何を、どうやって調べればいいのか分からないから、先生に相談しよう。</p> <p>S：調べ方が分からないから、友だちと一緒にやりたいけど、仲間に入りづらいな。</p> <p>S：教科書の書いてある意味がよく分からないから、動画を見てみようかな。</p> <p>S：どうやって分かったことをまとめていこうかな。</p> <p>S：まとめることができたから、チェックシート</p> | <p>◎学習計画に沿って進めることができるように、児童の進捗状況を見取りながら見守る。 ◎友だちと協働できるように、話し合うことや協力して調べることを推奨する。 ◎友だちと話しながら活動することができるように、教室・ホールを使って学習できることを伝える。 ◎インターネットの記事を調べる前に、教科書の資料を見て調べるように促す。また、インターネットの記事を読んで、そのままコピーするのではなく、その記事から分かったことをまとめるように伝える。 ◎困り感をもった児童がすぐに相談できるように、武士コーナーで資料を提示したり教師の解説動画を紹介したり相談ブースで児童の疑問に寄り添えるようにする。 ◎人間関係を気にせずに協力できるように、何のために友だちと協働するのかを伝え、同じ疑問を調べている児童や調べ方が分からない児童同士がつながるように促す。 ◎漢字が苦手な児童も学習内容が理解できるように、動画教材を用意して何度も見られるようにする。 ◎児童が自由にまとめることができるように、スライド・新聞・ノート等のまとめ方を紹介する。 ◎調べ学習を通して、武士の世の中についての</p> |

| | |
|---|---|
| <p>をやってみよう。</p> <p>S：チェックシートができたから、自分の知りたい源義経（例）についてさらに調べて、説明する動画を作ろう。</p> | <p>概要を身につけることができたかを児童が確認できるように、チェックシートを準備する。</p> <p>◎児童が何度でもチェックシートに取り組むことができるように、チェックシートの活用の仕方を児童に伝える。</p> <p>◎児童がさらに調べて伝えたいと思うことができるように、教師の示範動画を用意し参考にするように助言する。</p> <p>○正確な情報を紹介できるように、情報の源の本やウェブページも紹介するように伝える。</p> |
| <p>◆評価項目</p> <p>① 源平の戦い、幕府の始まり、元との戦いを手掛かりに、武士による政治が始まったことを理解している。</p> <p>② 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめている。</p> <p style="text-align: center;">＜ノート 新聞 スライド 振り返り（知）＞</p> <p>・源平の戦い、幕府の始まり、元との戦いを手掛かりに、貴族の世の中から武士の世の中へと変化することについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決している。</p> <p style="text-align: center;">＜ノート スライド 発言 振り返り（態）＞</p> | |
| <p>3 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。 (終末 10 分)</p> <p>S：源平の戦いについて調べることができたな。今度は鎌倉幕府の仕組みについて調べてみたいな。</p> <p>S：教科書で調べても、よく分からなかったから、次は動画を見てみよう。</p> <p>S：一人で考えても、よく分からなかったから、今度は時間を決めて調べてみよう。もし間に合わなかったら友だちに聞こう。</p> | <p>○「教科の目標に対しての振り返り」と「学習者としての自分に対する振り返り」を記録できるように、ワークシートに振り返りを記入させる。</p> <p>○自分で学習を調整できるように、自分の学習の進め方について考えるように声かけをする。</p> <p>○児童の自己肯定感や意欲を高めることができるように、エージェンシーを発揮して、探求追究できている姿を具体的に示し、賞賛する。</p> |

第6時の学習

- ねらい これまでに学習して分かったことをもとに「なぜ、武士が力を持つことができたのだろう。その後はどうなっていったんだろう？」について人物に着目しながら説明することができる。

2 展開

| <p>主な学習活動 予想される児童の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項</p> | <p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p> |
|---|---|
| <p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 (導入 5 分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>＜めあて・課題・見通し等＞</p> <p>学習したことをもとに、みんなで立てた問いに答えよう。</p> </div> <p>S：今まで、学習して分かったことを自分の言葉で説明していきたいな。</p> | <p>○前時までの調べ学習の内容を想起することができるように、年表をもとにどのように武士の世の中になっていったのかを簡単に振り返る。</p> <p>○具体的に分かりやすく記述できるように、調べたり、聞いたりして分かった言葉を入れて説明文を書くように促す。</p> |

| | |
|---|--|
| <p>2 人物に着目しながら、問いに対する自分の考えを説明する。(★)</p> <p style="text-align: right;">(展開①10分)</p> <p>S : 友だちの説明をきいたら、武士の世の中にどう変わったのかよく分かったな。</p> <p>S : 友だちに説明することで、自分の考えが整理できたな。</p> <p>S : 友だち話を聞いて、自分が調べたこと以外のことも知ることができたな。</p> <p>S : 問いに対して、説明するのが難しいから、自分でまとめたスライドを見直そう。</p> <p>3 人物に着目しながら、問いに対する自分の考えを記述する。(★)</p> <p style="text-align: right;">(展開②15分)</p> <p>S : 平清盛が武士が政治に参加する土台を作ったんだな。平家を倒した源頼朝は、京都から離れた鎌倉に幕府を作って、武士が政治を行える仕組みを整えたんだな。その後、元寇が来て北条時宗が中心となって九州で戦ったんだな。御家人に新しい領地を与えることができず、幕府の力は弱くなっていったんだな。</p> <p>S : 説明するのが難しいな。</p> | <p>○今までの調べ学習を整理して問いに答えられるように、友だちと分かったことを伝え合うように促す。</p> <p>○人間関係を気にせずに交流できるように、色々な友だちと交流するように促す。</p> <p>○具体的に分かりやすく記述できるように、調べたり、聞いたりして分かったキーワードや人物名を入れて説明文を書くように促す。</p> <p>○武士の世の中に变化したことを整理して説明できるように、ワークシートを用意して記述させる。</p> <p>○貴族の世の中から武士の世の中へ変化していったことを説明できるように、自分や友だちのまとめた資料を参考にできることを伝える。</p> <p>◎自分の考えを記述しやすくするために、武士の世の中について調べ学習ででてきた言葉(キーワード)を使って説明するように助言する。</p> |
| <p>◆評価項目</p> <p>武士が台頭してきたことや源平の戦いの様子、鎌倉幕府の政治の仕組み、元との戦いについて関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え表現している。</p> <p style="text-align: center;">＜ノート スライド ワークシート 振り返り(思)＞</p> | |
| <p>4 単元の学習を振り返る。</p> <p style="text-align: right;">(終末15分)</p> <p>S : 武士の世の中について自分でも調べることができたな。</p> <p>S : 自分でも、課題を解決することができるんだな。</p> <p>S : 自分たちで調べて考える授業をすることで、自分で学習を計画する力がついてきたな。</p> | <p>○単元の振り返りができるように、ワークシートに振り返りを記入させる。</p> <p>○自分で学習を調整できるように、単元を通した自分の学習の進め方についても振り返りを行うように促す。</p> <p>○児童の自己肯定感や学習意欲を高めることができるように、エージェンシーを発揮して、協働して課題を解決している姿や個別に追究している姿を具体的に示し、賞賛する。</p> |